

2021年5月6日
総会資料

一般社団法人えんがお

2021年度事業計画書

期間：2021年月4日～2022年3月31日



一般社団法人えんがお
〒324-0051 栃木県大田原市山の手1-9-10
TEL 0287339110 E-mail engawa.smile@gmail.com
URL <https://www.engawa-smile.org>

1.2021年度の組織運営計画について

1.ビジョンとミッションの確認

ビジョン ー目指す社会像ー

「誰もが人とのつながりを感じられる社会」

ミッション ー社会的使命ー

- ・高齢者の孤立化の予防と解消ができる地域の仕組みをつくり、実践していく
- ・若者の存在を受け入れ、共に成長できる場をつくる
- ・人とのつながりの力で、あらゆる社会課題と向き合う *本年度より追加

2.基本方針

ミッションの達成を図るため、以下の事項を2021年度の基本方針とする

①「人とのつながりが希薄な高齢者」の掘り起こしと、地域住民との接点の増加

一般社団法人えんがおは、5期目に入りさらに多くの領域への挑戦を進めていく。一方で、法人の価値として最も大切にしているものは、あくまでも「高齢者の孤立の予防と解消」である。

今季は、改めて対応可能な範囲における孤立高齢者の掘り起こしを進めていく。また、空き家活用を進めるにあたって、これまで以上にこまめに近隣住民にも情報を届けていく。加えて、イベントや地域食堂などにも近隣住民を多く誘うなどして、接点を増やしていき、更なる信頼関係の構築をすすめ、組織としての足元を固めていく。

②えんがおの持つ価値を生かした発信力の強化

これまで、主に県内での情報発信を行い、足元を固めてきた。今後は県外にも積極的に情報を発信し、意図的に知名度などを高めながら、地域に密着したコミュニティづくりの活動が広まるように仕向けていく。また、えんがおに関わっている高齢者の料理の商品化などによって、地域に密着した活動ではあるが、その地域の外に価値を広めていくための土台を作る一年にしていく。

③より密な情報交換と、PDCAが日常的に回る組織づくり

今年度より、門間と小林の出勤日数が週3-4日の勤務となる。これまで以上にスタッフの出勤日数が増えることで、週に一回のミーティングなどを行いながら積極的に情報交換を行なっていく。また、チームとしても個人としても、生じた課題に対して「なぜ起きたのか」「どういく対策をするのか」の思考習慣を確立し、PDCAが日常的に周り、日々成長する組織にしていく。

3.行動指針

- ・目の前の人を笑顔にする
- ・求められていることを最大限に楽しく実行する

スタッフ・サポーターに関しては、この二点を通過していれば個々の判断で主体的に行動してもらう。

II.2021年度事業計画（2021年4月～2022年3月）

1.事業計画

事業の種類（定款）	項目	事業名	事業内容・名称（案）	備考 （時期・頻度など）	昨年度実績（実人数）	受益者収益及び範囲の目標値 （実人数）
生活支援事業	継続	制度外サービス	制度対象外の生活支援	通年	239件 (32世帯)	500件 (50人)
世代間交流事業	継続	世代間交流イベント	多世代交流イベントの実施	12回/年	1回 60人	12回120人
	継続	みんなの家	1階：サロン活動	通年 水曜日休み	744人	1500人
	継続		2階：学生向け勉強スペース	通年	2077人	3000人
活動促進	継続	講演会	介護予防意識 地域作り促進	依頼時	15件 (771人)	50件 (3000人)
		学生活動体験者	学生の活動体験受け入れ	通年	延600人	延1000人
	新規	とちぎのおばあちゃんの食卓	おにぎりなどの商品開発・販売	通年		
ネットワーク・コミュニティ形成事業	継続	えんがおベンチプロジェクト	市内ベンチの有効活用及び、新規ベンチの設置	通年	5脚 17枚	15脚 50枚
	新規	県北若者ラボ	地域活動についての勉強会・会員交流会	1ヶ月に1回一般300円		120人
	継続	えんがおハウス	遠方から活動体験に来る人の無料宿泊所	通年	101人	240人
	継続	えんがお荘	若者・学生向けソーシャルシェアハウス	通年	入居者数延6人	入居者数5人
	継続	SHARE PLACE てのかご	地域食堂	通年	12回 (高齢者72数)	
			シェア店舗	通年	10店舗	20店舗
		レンタルオフィス	通年	2企業	3企業	
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	新規	障がい者向けグループホーム	共同生活援助	通年	2人	7人
情報発信・出版事業	継続	情報発信	WEBサイト、SNS (facebook,twitter,Instagram)	通年	3160フォロー	7000フォロー
	継続		えがお通信	隔月	年4回	年4回
その他	賞金・寄付金・会費など					
補助金						
合計						

2.2021年度の事業スケジュールと概要

2021年度は、主に二つの新規事業を大きな柱として動いていく。

1) 障がい者向けグループホーム

①概要

2020年度の2月に開設した障害福祉事業では、女性棟に2ヶ月で2名の利用者が体験利用を行い、4月1日から本入居となった。6月には男性棟をオープンし、2棟8名定員の体制としていく。

改めて、本事業を2021年度に力を入れる新規事業とし、入居者が安心して生活できる土台の構築と、地域と関わることでより多様な人が参加できる全員参加型のコミュニティへとつなげていく。一般社団法人えんがおとしても、正式に外部の人材を雇用し進めていく事業となる。

②スケジュール

4月：現在のソーシャルシェアハウスを平家に引っ越すため、改修作業・荷物運び。

5月：平家にてソーシャルシェアハウスを開始。旧シェアハウスの清掃・グループホームに向けて改修。開設に向けて書類などの提出。

6月：男性棟オープン。

2) 商品開発

①概要

えんがおの持つ価値を、密着している地域の外に届けていくために、今年度は商品開発を行う。具体的には、えんがおに関わっている高齢者の作るおにぎりのお惣菜商品である。福岡県で既に行なっている事業をモデルとしており、「おばあちゃん」に思い出や思い出のある働き世代や学生・子育て世代をターゲットとして「おばあちゃんのおにぎり」が気軽に食べられるような商品を作る。これまでのえんがおの認知度やイメージを商品の付加価値としつつ、商品自体の質も重視しながら開発を行なっていく。

②スケジュール

4月：てのかごの仕出許可準備。

5月：商品試作。ブランディング戦略立案。

6月：プレスリリース。販路確立。

7月：近隣店舗にて販売開始。週に2日20食より試行していく。